

令和7年度及び令和8年度第1四半期 重層的支援体制整備事業の取り組みについて

令和5年度から2年間の移行準備期を経て、令和7年度から重層的支援体制整備事業を本格実施した。1. 普及啓発・周知、2. 人材育成、3. 関係機関の連携・ネットワーク強化、4. 相談・支援策の構築の4つの柱で事業を実施している。

令和7年度は、「つながる相談窓口」の設置など、分野横断的な協働を推進するとともに、区民への周知を図りながら、本人や世帯が抱える地域生活課題や希望に応じた支援が行える体制を構築した。

令和8年度は「つながる相談窓口」の認知度向上のため、区民へのさらなる周知を図りながら、支援会議等を通じて分野横断的な協働を推進し、本人や世帯が抱える生活課題やニーズに応じた支援が行える体制を構築する。また、事業を円滑的かつ効果的に実施するため、関係機関との連携、支援会議の運営等に関する「文京区重層的支援体制整備事業マニュアル」を作成した。さらに、地域に存在する8050問題やひきこもり等の個別支援の課題について、社会福祉協議会や地域の関係者、地域活動団体等とも連携することで、早期の把握と適切な支援につなげていく。

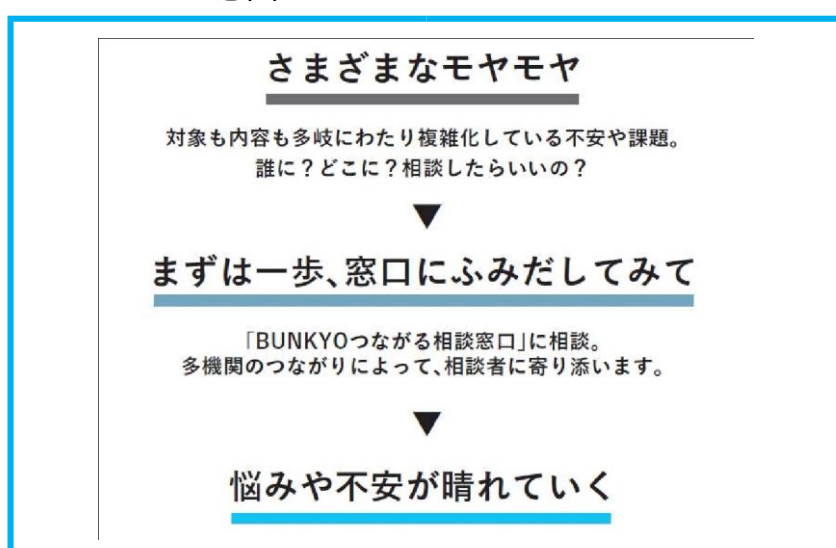
1 普及啓発・周知

(1) つながる相談窓口ロゴマーク作成

▼ロゴマーク（案）



▼ロゴマークの意図



(2) パネル、ポスター、リーフレットによる「つながる相談窓口」周知

区民への周知及び包括的支援体制の連携強化を図るため、10月を周知月間と位置づけ、区報ぶんきょう10月10日号による周知とプレスリリースを行い、併せてロゴマークの入った相談窓口の目印となるパネル2枚とポスター、リーフレットを全ての「つながる相談窓口」に、また区設掲示板と区民施設にポスターとリーフレットの掲出を依頼した。

掲出後、ポスターを見た区民より令和7年度は23件の相談が福祉政策課に入り、「つながりシート」を活用し、複数の相談機関※をつなぐ相談支援を実施した。

※高齢福祉課、地域包括支援センター、子ども家庭支援センター、生活福祉課、社会福祉協議会、保健サービスセンター等

令和7年度実績

	配布箇所	配布枚数
パネル（相談窓口の目印）	29 箇所	58 枚
ちらし	29 箇所	58 枚
ポスター	93 箇所	123 枚
リーフレット	94 箇所	915 枚

令和8年度実績

	配布箇所	配布枚数
リーフレット	94 箇所	912 枚

令和8年度については今後、ポスター及びチラシを作成し各支援機関に配布予定。B-グル、区設掲示板でも周知を行う。

▼リーフレット 上図：表面 下図：裏面

だれに 相談したら いいの?

BUNKYO つながる 相談窓口 じゃ

必要な支援を あなたとともに考えます

適切な機関につなぎ チームで支援します

つながりを持てるように 支援します

地域の中で 助け合える 関係を

解決策を一緒に考えて 安心して暮らせるよう 支援します

BUNKYO つながる 相談窓口
Connect & Support Desk

あなたの「困りごと」 私たちに相談してみませんか?

BUNKYOつながる 相談窓口について

重層的支援体制 整備事業について

ぶんきょうチームでまると支援
(重層的支援体制整備事業) 担当
〒112-8555 東京都文京区春日1-18-21
文京シビックセンター13階北棟
福祉政策課/地域共生社会推進係/福祉保健政策推進担当
TEL 03-5803-1323/1222
FAX 03-5803-1357

文京区

BUNKYO つながる 相談窓口
Connect & Support Desk

BUNKYOつながる相談窓口では

分野や世代を問わず あなたの「困りごと」をまるごと 受けとめます

例えば こんな不安や悩み ありませんか?

子ども 介護

お金・仕事 障害

自分以外の 家族・付き合いの ことでも!

ひきこもり

相談窓口 MAP

A シビックセンター内
福祉政策課 高齢福祉課 障害福祉課 生活福祉課
介護福祉課 子ども家庭課 子ども発達支援センター
予防医療課 保健サービスセンター
教育指導課 児童青少年課 自立相談支援窓口

B 保健サービスセンター本郷支所
03-3821-5106

C 社会福祉協議会
03-3812-3040

ひきこもりについて
D ひきこもり相談(茗荷谷クラブ)
03-3941-1613

子どもについて
E 教育センター
03-5800-2591

F 児童相談所
03-3811-5241

障害について
G 障害者基礎相談支援センター
03-5940-2903

H 本富士生活あんしん拠点
03-3868-3033

I 駒込生活あんしん拠点
03-5832-9720

J 富坂生活あんしん拠点
03-5810-1530

K 大塚生活あんしん拠点
03-6801-5216

高齢・介護について
L 高齢者あんしん相談センター富坂
03-3942-8128

M 高齢者あんしん相談センター富坂分室
03-5805-5032

N 高齢者あんしん相談センター大塚
03-3941-9678

O 高齢者あんしん相談センター大塚分室
03-6304-1093

P 高齢者あんしん相談センター本富士
03-3811-8088

Q 高齢者あんしん相談センター本富士分室
03-3813-7888

R 高齢者あんしん相談センター駒込
03-3827-5422

S 高齢者あんしん相談センター駒込分室
03-6912-1461

▼パネル



▼ポスター



(4) 区ホームページに事業掲載

事業の意義や各事業内容、文京区の特徴的な取組等についてイラストを交えてわかりやすく発信。帳票類や帳票類の手引き等を掲載した支援者向けのページも作成した。

(5) つながる相談窓口共通ルール、つなぐシートの再周知

既存の区相談窓口及び区内相談支援機関において、従来の法制度に基づいた対象者以外の方からの相談であっても、まずは“まるごと受け止めてもらう体制”を構築するため、共通ルールや帳票類（つなぐシート等）を窓口パネル配布と同時に再周知した。

▼共通ルール（一部抜粋）

包括的相談支援事業（つながる相談窓口） 共通ルール

- ①区民からの相談を断らない
 - 自分の所管でない相談内容も断らずに聞き、関係機関へつなぐ。
 - 相談者の属性、世代、相談内容等に関わらず相談を幅広く受け止める。
- ②関係機関からのつなぎを断らない
 - つなぎを受けた課は、適用できる制度・サービスがない場合でも、断らない。どのような支援が適切か、つなぎを行った課と一緒に考える。
 - フォーマル資源を活用した短期的な問題解決だけでなく、長期的な寄り添い等、“伴走”^{※1}を意識したインフォーマルな支援を行う。
- ③“つなぐ”の解釈をボタンタッチ型からスクラム型に変える
 - 複合的な課題や制度の狭間（グレーなケース）に対して、互いに連携し、役割分担する意識をもつ。

▼つなぐシート

～あなたのお悩み受け止めます～

つなぐシート ☆

基本情報

ふりがな	性別	☐ 男 ☐ 女 ☐ 表記以外
氏名	生年月日	() 歳
住所	〒 文京区	
電話	自宅	携帯
相談者 がご本人 以外の場合は	氏名	相談者との 関係
		☐ 家族（本人との関係： ） ☐ その他（本人との関係： ）

氏名	年齢	性別	備考

ご相談内容

ご相談された内容に○をお付け下さい。複数ある場合は、一番お困りのことに○をお付け下さい。

病気や健康、障害のこと	住まいについて	暮らし・生活費のこと
家族やローンの支払いのこと	仕事や仕事関係の事について	債務について
仕事探し、就職について	仕事上の不安やトラブル	地域との関係について
家族との関係について	子育てのこと	介護のこと
ひきこもり・不登校	DV・虐待	困るものがない
その他 ()		

ご相談されたいことや配慮を希望されることを具体的に書いてください。

※つなぐシートは福祉政策課にてとりまわっています。

(6) 広報強化月間について

4月と10月をBUNKY0つながる相談窓口の広報強化月間とし、令和8年3月1日から令和8年6月1日まで文京シビックセンター地下2階のマルチビジョンで動画を放映。また文京区ホームページのメインビジュアルにBUNKY0つながる相談窓口広報の為、画像を掲載。

▼文京区 HP



(7) 区 YouTube に再生リストを作成

重層的支援体制整備事業について区職員・支援関係機関職員・地域支援者等の皆様に広く周知し、知識を提供することを目的とし作成。

(8) 重層的支援体制整備事業に関する動画を作成（予定）

区民及び支援者に対する事業の周知の為、CATV、YouTube 及びショート映像について作成予定。

(9) 事業説明会、関係機関との意見交換会、つながる相談窓口の周知について

① 令和7年度実績 計19回

開催日	研修名	対象者	参加人数
4月11日	重層事業説明会及び意見交換会	やまて企業組合職員	2人
4月14日	重層事業説明会及び意見交換会	高齢者あんしん相談センター 駒込、駒込分室職員	8人
4月15日	重層事業説明会及び意見交換会	青少年健康センター職員	3人
4月25日	重層事業説明会及び意見交換会	社会福祉協議会（権利擁護センター）職員	5人

5月13日	重層事業説明会及び意見交換会	障害者基幹相談支援センター職員	7人
5月14日	重層事業説明会	行政職員、重層関係機関職員	66人
5月20日	重層事業説明会及び意見交換会	高齢者あんしん相談センター 富坂・富坂分室職員	4人
6月2日	重層事業説明会（訪問による周知）	保護司会役員	6人
6月3日	重層事業説明会及び意見交換会	高齢者あんしん相談センター 本富士・本富士分室職員	10人
7月14日	重層事業説明会	民協副会長	16人
7月23日	重層事業説明会（訪問による周知）	社会福祉法人連携文京区地域 公益活動ネットワーク総会職員	21人
8月26日	重層事業説明会及び意見交換会	本富士生活あんしん拠点	7人
8月27日	重層事業説明会及び意見交換会	大塚生活あんしん拠点	3人
9月2日	重層事業説明会及び意見交換会	富坂生活あんしん拠点	4人
9月17日	重層事業説明会及び意見交換会	駒込生活あんしん拠点	1人
10月28日	つながる相談窓口の周知	文京槐の会	3人
11月10日	つながる相談窓口の周知	アンビション文京	1人
11月18日	つながる相談窓口の周知	マイポジション	1人
12月22日	重層事業説明会	お茶の水女子大学	27人

合計 195 人

② 令和8年度実績（6月30日時点）

計 8 回

開催日	研修名	対象者	参加人数
5月19日	重層事業説明会及び意見交換会	富坂生活あんしん拠点職員	3人
5月20日	重層事業説明会及び意見交換会	障害者基幹相談支援センター職員	7人
5月22日	重層事業説明会	行政職員、重層関係機関職員	51人
5月25日	重層事業説明会及び意見交換会	大塚生活あんしん拠点職員	3人

5月25日	重層事業説明会及び意見交換会	本富士生活あんしん拠点職員	6人
6月15日	重層事業説明会及び意見交換会	高齢者あんしん相談センター 本富士・本富士分室職員	8人
6月18日	重層事業説明会及び意見交換会	青少年健康センター茗荷谷ク ラブ職員	3人
6月24日	重層事業説明会及び意見交換会	駒込生活あんしん拠点職員	2人

合計 83 人

2 人材育成

(1) 区職員・福祉・介護・教育・地域の担い手等への研修実施

① 令和7年度実績 計6回

開催日	研修名	対象者	参加人数
7月25日	第1回重層的支援体制整備事業研修 テーマ：ぶんきょうチームでまると支援研修 講師：特定非営利活動法人まつど NPO 協議会 理事 阿部 剛氏	行政職員 社協職員	25人
8月22日	第2回重層的支援体制整備事業研修 テーマ：重層的支援体制整備事業を理解する 講師：上智大学総合人間科学部社会福祉学科 准教授 鍋木 奈津子氏	行政職員 地域支援者 民生委員	76人
9月26日	第3回重層的支援体制整備事業研修 テーマ：地域支援者とともに 「つなぐ」「伴走する」について考える 講師：中高年事業団やまて企業組合 宗像 啓輔氏 文京区社会福祉協議会 上村 紗月氏 ぶんたねこいしか和 金谷 翔太氏 高嶋 弘子氏	行政職員 地域支援者 民生委員	45人
11月17日	第4回重層的支援体制整備事業研修 テーマ：初回面接のアセスメントと対応 ～「つなぐ」「チームをつくる」～ 講師：杏林大学保健学研究科 地域看護学研究室 教授 大木 幸子氏	行政職員 地域支援者	32人
12月19日	第5回重層的支援体制整備事業研修（講演会） テーマ：1人ひとりによりそえる地域へ ～ともにいる日常を育む～ 講師：NPO 法人抱樸理事長、東八幡キリスト教会牧師 奥田 知志氏	区内在住 在勤・在学 者	94人

3 月 11 日 (月)	第 6 回重層的支援体制整備事業研修 テーマ：文京区における自殺対策の現場から地域連携の可能性を考える～精神科救急と重層的支援体制整備事業の連携～ 講師：日本医科大学付属病院精神医学教室講師 野上 毅氏	支援機関職員 行政職員	22 名
-----------------	--	----------------	------

合計 294 人

3 関係機関の連携・ネットワーク強化

① 関係機関等の視察

重層的支援体制整備事業に係る機関の視察、東大 GNRC オープンラボ

②他自治体の事業視察

横浜市「令和 7 年度横浜市学校人権教育推進協議会総会」

(1) 文京区重層的支援体制整備事業関係者連絡会

令和 7 年度実績

	開催日	主な報告・検討事項等
第 1 回	8 月 22 日 (金)	・ 重層的支援体制整備事業の実施報告について ・ 意見交換会
第 2 回	1 月 23 日 (金)	・ 令和 7 年度文京区版ひきこもり総合対策について ・ 令和 7 年度重層的支援体制整備事業の取り組みについて ・ 令和 7 年度受理事例について ・ 意見交換

(2) 文京区重層的支援体制整備事業関係者連絡会作業部会

令和 7 年度実績

	開催日	主な報告・検討事項等（重層事業に関するものを記載）
第 1 回	4 月 25 日 (金)	・ 令和 7 年度重層的支援体制年間スケジュールについて（研修、支援会議、事業説明会等の詳細含む） ・ 支援会議開催予定の事例について ・ 「Ⅰ．包括的相談支援事業」に係る相談数等の集計依頼について ・ つなぐシートの活用方法について

第2回	6月27日（金）	・重層的支援体制整備事業に係る統計の集計依頼について ・令和7年度受理事例について ・ぶんきょうチームでまるごと支援研修について ・「BUNKY0 つながる相談窓口」ロゴマークについて
第3回	8月22日（金）	第2回重層的支援体制整備事業研修受講
第4回	9月26日（金）	第3回重層的支援体制整備事業研修受講
第5回	11月17日（月）	・第4回重層的支援体制整備事業研修受講 ・令和7年度受理事例について ・令和8年度研修について
第6回	12月19日（金）	第5回重層的支援体制整備事業研修（講演会）受講
第7回	3月11日（金）	・第6回重層的支援体制整備事業研修受講 ・令和7年度第2回重層的支援体制整備事業関係者連絡会の報告 ・令和8年度支援会議年間スケジュールについて ・令和8年度文京区重層的支援体制整備事業研修について

令和8年度実績（6月30日時点）

	開催日	主な報告・検討事項等（重層事業に関するものを記載）
第1回	4月24日（金）	・令和7年度 BUNKY0 つながる相談窓口相談実績について ・つなぐシートの活用方法について ・令和8年度重層的支援体制整備事業活動予定について ・ぶんきょうチームでまるごと支援 YouTube（仮称）について ・令和8年度文京区重層的支援体制整備事業説明会について ・個人情報の取り扱いについて ・既存会議体について
第2回	6月27日（金）	・重層的支援体制整備事業に係る統計の集計依頼について ・支援会議の効果・評価指標について ・I類福祉職配属先の業務内容確認依頼について（「福祉職キャリアマガジン（仮）」掲載予定） ・ぶんきょうチームでまるごと支援研修について ・その他

（4）支援会議等

① 令和7年度実績

支援会議（他会議体活用、オブザーバー参加含める） 17回

② 令和8年度実績（6月30日時点）

支援会議 3回

4 相談・支援策の構築

積極的に地域に出向き地域団体等と顔の見える関係性を築くとともに、地域づくり事業と関係が深い庁内外関係機関の会議等に参加し、地域資源の把握と開発に努めた。

○庁内

ひきこもり等自立支援会議、要保護児童対策地域協議会実務者会議、生活支援コーディネーター定例会議、ひきこもり支援従事者養成研修、教育と医療と福祉の連携と課題（文京区障害者地域自立支援協議会主催研修）、DV 被害者支援庁内連携会議の研修、離婚前後の家庭支援に関する知識習得研修、事業所実践報告会（障害者基幹相談支援センター主催研修）、ケアマネジメント従事者研修、自殺未遂者等支援拠点医療機関整備事業「若者の自殺予防」、東大看護が教える！共に学ぶ「ケア」講座、指定特定相談支援事業所連絡会（事例検討会） 他

○庁外

権利擁護支援連携協議会実務者会議、地域の子育てサポート連絡会円卓会議、子ども食堂連絡会、本富士地区弁護士連絡会、文京区地域公益活動ネットワーク総会・防災勉強会、地域共生社会の在り方検討会議、日本自殺総合対策学会 2025 年夏季講演会、こどものウェルビーイングと地域リエゾン研修 他